

平成6年 1月15日

January 15, 1994

No.619

発行: 小田原市役所  
〒250 小田原市荻窪300 番地  
毎月1・15日発行  
編集: 広報広聴課 (☎ 33-1261)



## 東京箱根間大学駅伝 初陣の関東学院大 激走



小田原中継所前を走る 藤本幹人さん（4区）

伝統の第七十回東京箱根間往復大学駅伝が一月二日・三日、関東の精銳二十校を集めて開催され、山梨学院大学が二年ぶり二度目の総合優勝を果たしました。小田原キャンパスのある関東学院大学は、創部四十一年にして初出場を果た

し、総合十七位と健闘を見せました。地元の大学が駅伝を走るとあって、市民も小田原ちようちんを振るなどして暖かい声援を送り、選手も力走でこれに応えました。駅伝の歴史に一步を記した関東学院大学に、熱い期待がかかります。

## 新春初泳ぎ 寒さをこらえ暖を取る

元日の朝、御幸の浜で第四十八回新春初泳ぎが開催されました。

五千人の見物客が、朝焼け色に染まる水平線を見守る中、午前六時五十分に燃え上がるよう赤い初日が顔を見せる。小田原水泳協会員二十五人が気合いをかけながら元気に海に入り、海の安全と会員の健康を祈願しました。恒例行事を無事に終えた協会員は、焚き火で暖を取りながら、お互いを称え合っていました。海岸では、地元の自治会などにより豚汁や振る舞い酒のサービスもありました。



初泳ぎ後焚き火で暖を取る水泳協会員

### 目 次

- ② 不況を乗り切る融資制度を新設・マイタウンレポート
- ③ 市職員の給与などのあらまし
- ④ ⑤ 財政状況の公表・ふるさとの息吹
- ⑥ ⑦ きらめき情報・健康コーナー
- ⑧ (仮)環境保全条例市民集会を開催







# ふるさとの息吹

## 小田原の年中行事 —10—

小田原市史編さん委員  
西 海 賢二



おかざり「玉飾り」

正月は、歳神を迎えてまつる時節である。歳神は、大晦日の夜に訪れて、正月飾りを取り扱う四日もしくは七日、十五日前後に帰るといふ。

市内では十二月八日のシワスヨウカという一つ目小僧の妖怪伝承をめぐる行事から十三日のススハイ行の事のころに歳神を迎える準備を始め、大晦日には、歳神の祭壇の前で寝ずに一夜をすごし、トシリマリというご飯を共食したものである。

元旦、主人は若水汲みといつ

て井戸から水を汲み、その水を使つてお雑煮を作つたり、お風呂に入れて入つたり、さらに歳神に主人が上げたものを下げて家族中が直会を行つて神の靈力を身に付けて、人々は一つ年をとる。

江戸時代には十二月の晦日に市内では年の火といふ行事がある。これは、大晦日の夜に歳神を迎えるために火を焚き、神はこの火を目印に訪れてくると信じられていた。この変形した慣習がよく見られた。これは、大晦日の夜に歳神を迎えるために火を焚き、神は京都を中心に見られたのは鎌倉時代ごろまで、京都市を中心に行なわれた。一般化したのは江戸時代以降のことである。門松の形態はさまざま、場所によっては

松以外の常緑樹を用いることもある。箱根には、一村あげて門松を立てないところもあった。この村には、戦国時代の門松をめぐる伝承が残っている。戦国の世、武田信玄の支配下にあり、丁度正月のころ、いざ出陣となつた。ところが、村人が出口に立たれれた門松に運悪くつまずいて目を突いてしまい、とうとう出陣

正月に飾る門松は、正月気分を盛り上げてくれます。が、本来は歳神の依代であつたと考えられている。この慣習がよく見られたのは鎌倉時代ごろまで、京都市を中心に行なわれた。一般化したのは江戸時代以降のことである。門松の形態はさまざま、場所によっては

松以外の常緑樹を用いることもある。箱根には、一村あげて門松を立てないところもあった。この村には、戦国時代の門松をめぐる伝承が残っている。戦国の世、武田信玄の支配下にあり、丁度正月のころ、いざ出陣となつた。ところが、村人が出口に立たれれた門松に運悪くつまずいて目を突いてしまい、とうとう出陣

できなかつた。その後この村では門松を立てなくなり、門松にかわって檻を立てるようになつたといふ。

門松を取り扱う時期は、市内でも一定しないが、早い所では四日に坊さんが年始回りに来る

前、七日に七草の行事が終わる。もしも十三日から十五日かけての小正月の、セイノカミサン(道祖神祭り)という行

事にこの門松を燃やすことがあつた。京都、大阪周辺では十五日。江戸でも十五日に取り扱つたようだが、宝永六年というから、富士山の大爆発した翌々年、五代将軍徳川綱吉が死去したため、翌七年から八日の朝に取り扱うようになったといふ。

正月の膳にとつてつきもの

料理といえば、雑煮があげられるだろう。餅といつても最近では市内でも餅つきをする光景などめつたに見られなくなつた。

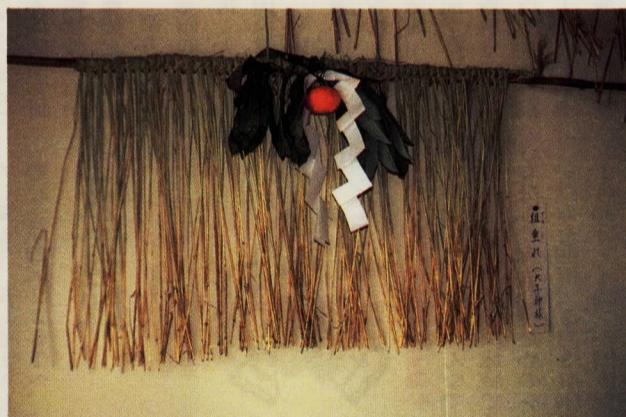
餅は真空パックになつて売つて

いるものだと思つてゐる大学生もいるのが現実なのである。

餅を雑煮として料理するようになつたのは中世末期のことらしい。市内でもほぼ全域で正月に餅を食べる慣習があるが、南町の一画に餅を四百年、食べない、いわゆる餅なし正月を守つてゐる家がある。この餅なしの背景があり興味深いもので

ある。

正月に飾る門松は、正月気分を盛り上げてくれます。が、本来は歳神の依代であつたと考えられている。この慣習がよく見られたのは鎌倉時代ごろまで、京都市を中心に行なわれた。一般化したのは江戸時代以降のことである。門松の形態はさまざま、場所によっては



おかざり「組垂れ」

正月に飾る門松は、正月気分を盛り上げてくれます。が、本来は歳神の依代であつたと考えられている。この慣習がよく見られたのは鎌倉時代ごろまで、京都市を中心に行なわれた。一般化したのは江戸時代以降のことである。門松の形態はさまざま、場所によっては

松以外の常緑樹を用いることも

ある。

箱根には、一村あげて門松を立てないところもあった。この

村には、戦国時代の門松をめぐる伝承が残っている。戦国の世、

武田信玄の支配下にあり、丁度

正月のころ、いざ出陣となつた。

ところが、村人が出口に立たれ

れた門松に運悪くつまずいて目

を突いてしまい、とうとう出陣

できなかつた。その後この村で

は門松を立てなくなり、門松に

かわって檻を立てるようになつたといふ。

門松を取り扱う時期は、市内

でも一定しないが、早い所では

四日に坊さんが年始回りに来る

前、七日に七草の行事が終わる

て、もしくは十三日から十五日

かけての小正月の、セイノカ

ミサン(道祖神祭り)という行

事にこの門松を燃やすことがあ

つた。京都、大阪周辺では十五

日。江戸でも十五日に取り扱つ

たようだが、宝永六年というか

ら、富士山の大爆発した翌々年、

五代将軍徳川綱吉が死去したた

め、翌七年から八日の朝に取り

扱うようになったといふ。

正月の膳にとつてつきもの

料理といえば、雑煮があげられ

るだろう。餅といつても最近で

は市内でも餅つきをする光景な

どめつたに見られなくなつた。

餅は真空パックになつて売つて

いるものだと思つてゐる大学生

もいるのが現実なのである。

餅を雑煮として料理するよう

になつたのは中世末期のことら

しい。市内でもほぼ全域で正月

に餅を食べる慣習があるが、南

町の一画に餅を四百年、食べ

ない、いわゆる餅なし正月を守

つてゐる家がある。この餅なし

の背景があり興味深いもので

ある。

正月の報告は全国で数百例ある

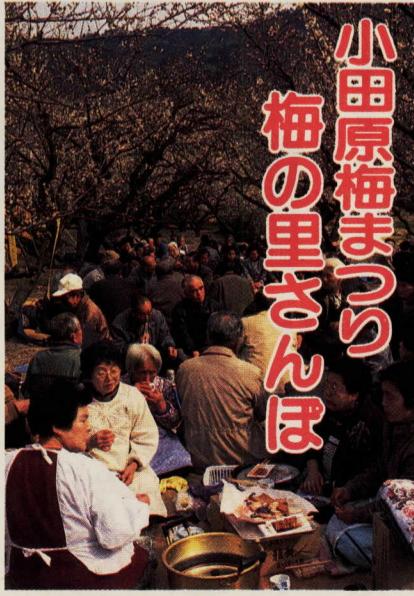
が小田原の事例は家例として特

殊の背景があり興味深いもので

ある。

曾我梅林

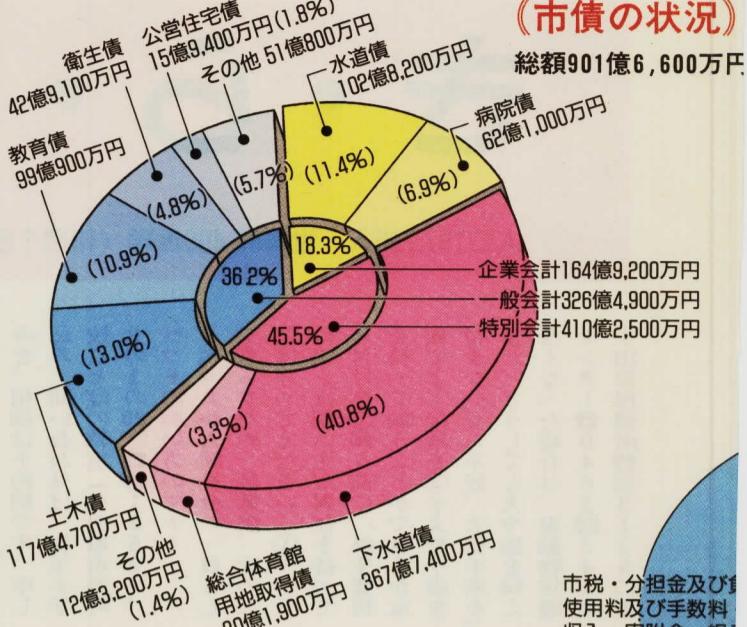
### 小田原城址公園



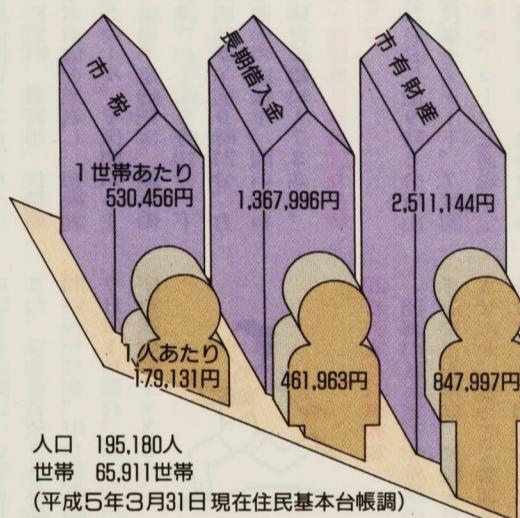
小田原梅まつり  
梅の里さんぽ

### 北の領土かえる日 平和の日

## 正月の行事

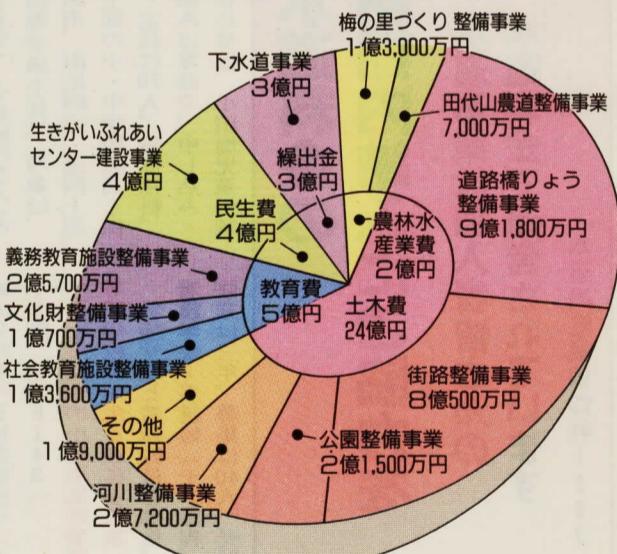


### (市民の負担と持分)



### (競輪収益金の使途状況)

平成4年度収益金 総額38億円



### 小田原市駅前ふらっとスポット 生涯学習コーナー開設記念

杉浦日向子

「江戸アルキ帖」原画展

小田原市駅前ふらっとスポット生涯学習コーナーの開設を記念して、特別展を開催します。テレビで活躍中の江戸時代研究家・杉浦日向子さん

◆会場 小田原市駅前ふらっとスポット生涯学習コーナー (1月24日は休館)  
◆入場料 無料  
◆問い合わせ 津川学習課 生涯学習係 ☎ 03-31712



期間中	期間中の祝・休日	20日(日)	13日(日)	12日(土)	11日(祝)	1日(火)	開園式
第一回梅干コンクール	野立て 寿獅子舞 相和子供民舞	流鏑馬 短歌大会 小田原ちようちん踊り	種とばし大会	梅の盆栽展	野立て	立春青空句会	
神峯山窯作陶展							
小田原水墨画展							
中河原会場(瑞雲寺)	梅の里センター 各会場						
中河原会場(瑞雲寺)							





